

【書類名】明細書

【発明の名称】<すべての発明の名称>

***他に発明の名称があれば追加してください（プログラム、～方法）

など***

【技術分野】

本発明は、<発明の概要>等に関するものである。

【背景技術】***不要であれば削除***

従来の<発明の名称>において、～（例えば、特許文献1参照）。

【先行技術文献】***不要であれば削除***

【特許文献】***記載例***

【特許文献1】特開～～号公報（第1頁、第1図等）

【特許文献2】特開～～号公報（第1頁、第1図等）

【非特許文献】***記載例***

【非特許文献1】特許一朗著 「ハンドスキャナのいろいろ」特許出版 2003年

【非特許文献2】新崎 準、外3名、“新技術の動向”、[online]、平成10年4月1日、特許学会、[平成11年7月30日検索]、インターネット [URL : <http://tokkyo.shinsakijun.com/information/newtech.html>]

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の<発明の名称>においては、<全体課題>という課題があった。

【課題を解決するための手段】

本第一の発明の<発明の名称1>は、<成形請求項（従属関係なし）1>である。

かかる構成により、<効果1>ことができる。

/&method{N=2…[請求項数]}

また、本第[#]の発明の<発明の名称#>は、<従属関係#>の発明に対して、<成形請求項（従属関係なし）#>である。

かかる構成により、<効果#>ことができる。

&method/

【発明の効果】***不要であれば削除（発明に共通の効果を簡潔に記載）***

本発明による<発明の名称>によれば、<全体効果>ことができる。

【図面の簡単な説明】***不要であれば削除***

<<必須図説明>>

【発明を実施するための形態】***不要であれば削除***

<<発明を実施するための形態ヘッダ>>

/&embodiment{N=1…[実施の形態数]}

（実施の形態#）

本実施の形態において、<実施の形態#の発明の概要><実施の形態#の発明の名称>について説明する。また、本実施の形態において、<実施の形態#の前置部>の<実施の形態#の発明の名称>について説明する。

<<ブロック図説明>>

<実施の形態#の構成要素説明>

必要な場合、フローチャートを記載

フローチャートでは、<実施の形態#の発明の名称>の動作を詳細に記載

<<フローチャート説明>>

（ステップS#01）

（ステップS#02）

（ステップS#03）

（ステップS#04）

(ステップS#05)
(ステップS#06)
(ステップS#07)
(ステップS#08)
(ステップS#09)
(ステップS#10)
(ステップS#11)
(ステップS#12)
(ステップS#13)
(ステップS#14)
(ステップS#15)
(ステップS#16)
(ステップS#17)
(ステップS#18)
(ステップS#19)
(ステップS#20)
<<フローなお書き1>>
<<フローなお書き2>>
<<具体例説明>>
<<実施の形態の効果>>
<<なお書き1>>
<<なお書き2>>
<<なお書き3>>
<<実施の形態フッタ>>

<実施の形態#の未使用情報>

&embodiment/

<<発明を実施するための形態フッタ>>

【産業上の利用可能性】*不要であれば削除（効果は、必ず出る効果を簡潔に記載）*****

以上のように、本発明にかかる<発明の名称>は、<全体効果>という効果を有し、<発明の名称>等として有用である。

【符号の説明】*不要であれば削除*****

【受託番号】*不要であれば削除*****

【配列表フリーテキスト】*不要であれば削除*****

【配列表】*不要であれば削除*****

【書類名】 特許請求の範囲
/&claim{N=1…[請求項数]}
【請求項#】
<請求項#>
&claim/

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 従来の<発明の名称>においては、<全体課題>という課題があった。

【解決手段】 <要約請求項 1>により、<全体効果>できる。

【選択図】 図 1